

第20回技能競技大会優勝 福岡県チームが国土交通大臣を表敬

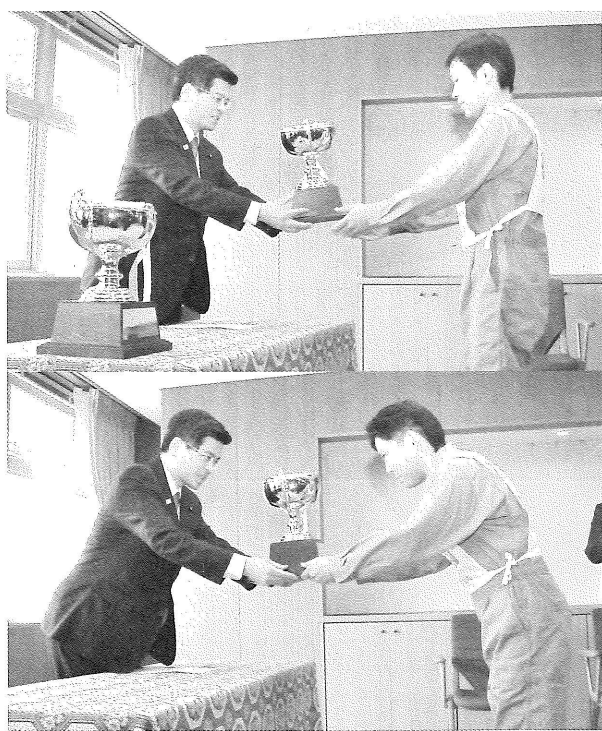
昨年10月に開催した「第20回全日本自動車整備技能競技大会」で、優勝を果たした福岡県チームの谷口修平選手（(有)藤壺自動車工業）と常岡兼次選手（西鉄エム・テック（株）福岡工場）が、橋本日整連会長及び金山福岡県整振副会長らとともに、4月26日（火）国土交通省を訪れ、国土交通大臣を表敬した。

大臣表敬は、全国の自動車整備士の励み、目標となり、引いては整備業界の魅力向上、若年の人材確保につなげる目的で実施され、当日は、国土交通省から石井国土交通相をはじめ、宮内国土交通大臣政務官、藤井自動車局長、和迩自動車局次長が出席した。

初めに、橋本日整連会長から大臣への表敬の機会を与えてくれたことに対しお礼を述べるとともに、選手二人の紹介を行った。続いて石井大臣から国土交通大臣杯の授与が行われた後、石井大臣は、「お二人は、全国の自動車整備士

の中で最高の技能を持たれていると顕彰されたわけですが、これは格段に高いプロ意識に根差した日頃からの研鑽と修練のたまものではないかと思います。自動車整備は、安全・安心な車社会の基盤となる大変重要なお仕事であり、それを根幹で支えているのが、自動車整備士の皆様です。優勝された谷口さん、常岡さんにおかれましては、誇りと使命感を持って、これからもご自身のさらなる向上と全国の自動車整備士のお手本として、卓越した知識と技能を広めつつ、一層ご活躍いただけることを期待します。」と二人に敬意を表した。

続いて、宮内政務官から「九州の整備事業者であるお二人が、全国の自動車整備士がその技能について競い合う大会において、優勝されたということについて誇りに思います。自動車整備は、地域の足として重要度の高い自動車の安全・安心を支えており、地域に密着した仕事であるとともに、その職務につかれている自動車整備士の皆様は、地域に頼られる非常に重要な存在であります。優勝された谷口さん、常岡さんにおかれましては、これからもその卓越した知識と技能をもって、後進の指導や育成、九州のみならず、自動車整備業界全体の技能向上に貢献されようご活躍いただけることを期待します。」と今後の活躍に期待した。



大臣から大臣杯を授与された
谷口さん（上）と常岡さん（下）



左から谷口さん、石井大臣、宮内政務官、常岡さん